比例定数削減
「身を切る改革」はうそ
大阪で起きていること

「あかん！カジノ」女性アピール事務局
川本幹子

自民党と日本維新の会が政権合意で突如持ち出した、衆議院議員定数の削減問題。しかも、多様な民意を反映できる比例代表の議席を減らそうとしています。議員定数削減が何をもたらすのか。府議会、大阪市議会で議席の過半数を維新が占めている大阪から、「あかん！カジノ」女性アピール事務局の川本幹子さんに寄稿してもらいました（イラストも）。

自民との連立の絶対条件に

「自民党と手を組むことはない」と言い、「企業・団体献金の禁止」を自民党に迫っていたはずの維新の会が、過半数に満たない自民党に助け舟を出し、自・維連立内閣が発足。その絶対条件に掲げたのが、「衆議院議員比例定数の一割削減」でした。

自民党裏金問題の追及は一体どこへ？　国民の関心も高く自民党を追い詰めるはずの諸問題は、合意書の後景に追いやられました。

維新の吉村代表は「議員定数削減は維新の『身を切る改革』の原点」と言い切り、そして定数削減をやってきたからこそ、大阪は財政を立て直した、いろんな改革をやってきたのだと得意げに語ります。その場面をマスコミが流せば、「なるほど」と思わされた人も自民党に多いでしょう。

府民の暮らしを守るはずの大阪府知事が、国会議員でもないのに国政政党の代表として自民党と合意書を交わす、それ自体おかしい光景でした。

維新が26％の得票で7割の議席独占

維新が2011年の府議選で過半数の議席を得てからというもの、一気に定数削減がおこなわれ、定数112議席が2015年には109に、2023年には79にまで減らされました。「これぞ、身を切る改革だ」の一言で済まされたのです。女性たちは有志で、「定数削減は女性の政治参画をさらに狭めるもの」「絶対に許せない」「ジェンダー視点を府政に生かして」と宣伝し、記者会見もおこないました。維新前代表は、女性は政治家に向かない、男に任せておけ、と言わんばかりの暴言を吐いた人物です。

結果、53選挙区のうち最大の4人区は3選挙区だけで、1人区が36となり、第一党が一人勝ちして多数の民意が死票になる小選挙区が圧倒的になりました。2023年の府議会議員選挙では、全有権者の26％の得票しかない維新が7割もの議席を独占。大阪市議会でも、2023年に81から70に議席が減らされ、府議会と同じように25％の得票で6割超の議席を占め、府も市も維新の思うがままの議会になってしまい、万博・カジノが進められました。さらに三度目の「住民投票」で「都構想」復活を狙い、自民党にのませたのが「副首都構想」です。

万博は黒字と宣伝するも実は大赤字。万博後の夢洲では、カジノの工事が急ピッチですすみ、12月には20回目になる「あかんやろ！カジノ女性パレード」がおこなわれます。「女性の政治進出拒む定数削減はやめよ」の声も、きっと御堂筋に響くでしょう。

府民の暮らし教育を破壊

さて、過半数の議席をとった維新の「やりたい放題」は驚くべき暮らし破壊であり、教育破壊でした。それまでの病院の統廃合、病床削減がもたらした医療のぜい弱さが、新型コロナの感染で全国一の死者を出したのです。府立高校は3年「定員割れ」になると統廃合の対象にするという条例で、昨年までで21校、2040年までにはさらに32校を減らす計画です。公教育にカネをかけるなと言いたいのでしょう。

連立発足後、新婦人大阪府本部がとりくんだ街頭でのシールアンケートで23人と対話。「維新が『比例定数削減』&『副首都構想』を連立の条件にしたことをどう思いますか」の問いには「いいと思う」4、「よくない」6、「わからない」3。今の世論の揺れも見えます。万博・カジノの工事が急ピッチですすみ、12月には20回目になる「あかんやろ！カジノ女性パレード」がおこなわれます。「女性の政治進出拒む定数削減はやめよ」の声も、きっと御堂筋に響くでしょう。

シールアンケートで対話する新婦人大阪府本部

自・維合意の「衆院定数１割削減」10党・会派が〝ちょっと待った！〟

11月６日、「政治改革の柱として衆議院選挙制度の抜本改革を実現する超党派議員連盟」が額賀衆院委員長を訪ね、申し入れ書を提出した。

「衆議院選挙区制度に関する調査会答申」（2016年）では、「（定数）を削減する積極的な理由や理論的根拠は見いだしがたい」と結論づけていることを示した。公明党議員は「行政府側の合意（自・維の合意書）のなかで立法府を制限するような項目を入れるのは越権行為」と批判。自民党議員も「にわかに議員定数削減が持ち上がった」として、「選挙のあり方は、全党派で議論すべきもの。その立場は揺るがない」と発言。額賀衆院議長は「各党の意見を聞いて決める」、浜田衆院運営委員長は「長きにわたり議論してきたことを尊重する」と語った。

申し入れ書には、自民・維新を含め、衆院に会派がある10党・会派の議員が名を連ねた。

ジェンダー平等度が高い国は比例代表中心

ジェンダー平等度ランキングで１位のアイスランド、２位フィンランド、３位ノルウェーはいずれも比例代表制をとっており、女性国会議員の比率（下院）も、それぞれ46.0％、45.5％、40.2％と高い（2025年10月１日現在、列国議会同盟調べ）。

５位のニュージーランドは小選挙区制をとっていたが、選出される議員は主に白人男性で、女性や先住民のマオリ族などはほとんど選出されないなど小選挙区制の弊害が問題となり、国民投票を経て1993年に小選挙区比例代表併用制の導入を決定。それ以降、３人の女性が首相となり、現在女性国会議員は45.5％となっている。

女性　働く　月1回

弱いものをさらに弱くする消費税・インボイス制度 ②

STOP！インボイス埼玉西部　フリーライター　安田　知代

「未登録事業者」は邪魔者？

「インボイス制度」は、消費税に追加された非常に複雑なしくみです。特に厄介なのは、仕事の取引に意地悪く介入してくるところです。

この制度は、すべての事業者にインボイス登録をする・しないを選択させます。登録した事業者は、登録番号入りの「適格請求書」を発行できます。それを受け取った発注元や顧客は、そこに記載された消費税額を、一年分の売上高に応じて消費税を納税するときに差し引くことができます（仕入税額控除）。しかし相手が未登録事業者だとそれができず、発注元はその分の税額を負担しなければなりません。

「1万人のインボイス実態調査」（※）では、未登録事業者の3割が「未登録を理由に値引きされた」と回答。「未登録と伝えたらウチで負担しろということね」と言われて嫌な思いをした」「抗議すれば仕事を失うので何も言えない」「交渉したら良好だった取引関係が悪くなった」といった負の余波が目立ちます。また発注元から明言のない〝ザイレント取引排除〟も、4者に1者が経験しています。

一方、発注元も好んで嫌がらせをしているわけではありません。物価高騰で経営はどこも大変。「こちらですべて背負うのは不可能で心労が限界」との苦悩は、他人事とは思えません。

未登録事業者の税負担には軽減措置があるものの時限的で、4年後の29年10月以降は負担が100％しかかります。「軽減措置が終わったら、未登録事業者は切らざるをえない」の声は、多くの発注元の本音でしょう。

こうしてみると、まるで「未登録事業者をどうするか問題」と捉えられそうですが、ちょっと待って。そもそも年商一千万円以下の事業者に消費税は重すぎるから、免税とされてきたのです。税の大原則は〝経済的な能力に応じて負担する〟という「応能負担」だったはず。その原則が蔑ろにされていることこそが問題の根っこです。これは、実態調査に答えてくれた人たちの多様な選択の軋轢（あつれき）です。

※25年春に「インボイス制度を考えるフリーランスの会」が実施。

ホットライン　ホットラインの投稿は編集部メールアドレス　s-press@shinfujin.gr.jp へ

長野
「高市首相どう思う？」シール投票

【上田支部　田中みゆき】毎年、市民団体主催の憲法公布記念日の行動に新婦人も参加しています。今年は、「2025・11・3憲法公布記念日　なんでもアピールスタンディング」として、79回目の憲法公布記念日に、それぞれの想いを自由に表現し、訴えて、憲法のもとで、平和な暮らし、人権を守るための連帯行動をと呼びかけられました。場所は、上田駅前の水車前広場及び周辺。

新婦人は、「初の女性総理誕生　高市首相、どう思う？」のシール投票をしました。投票用紙と自民・維新の連立政権「合意文書」を用意し、JR上田駅前で声をかけました。結果は期待11、期待とても1、不安41でした。期待は、若い世代が多く、理由は、安倍政治継承・トランプと仲がいい・女性初だから・が圧倒的。子育て世代も「期待」でした。

就活で上田にきている21歳の男性も「この閉塞感を突破してもらえそう」と話し、改憲や軍事費をGDPの3・5％増などと話すと「知らなかった。それは困るか も」という返事。多くの人がスマホで見た情報、流される情報のみを信じていることへの危うさを実感しました。私たち自身も、しっかり対話できるように学んでいかなければと思いました。

「不安」がたくさん▲長野

宮城
初めて班で　原爆展　仲間も

【青葉支部国見班　奥津栄子】初めて班主催の原爆展を市民センターで行いました。1000枚のチラシを町内回覧や地域に配布、地方紙の情報コーナーにも掲載されました。

3日間のロビー展示の他、音声付き紙芝居、被爆者の証言DVD上映も行い、会員外は6人の参加でした。地方紙の取材も受け掲載されました。掲載紙と署名用紙を持って仲間づくり行動。運動に賛同し、読者から会員1人、しんぶん2部が増えました。

読者が入会！▲宮城

富山
3班合同で　原爆パネル展

【富山支部らいぶ班　飛田博美】被爆80年の今年、「平和の新婦人」を大きく知らせようと9月27日、らいぶ班、ほおずき班、あじさい班の3班合同で、読者のお寺（永宗寺）を借りて原爆展を開きました。39人の参加があり、「原爆パネル」「高校生の絵」と各班の作品を展示し、午前は住職が「富山市に投下されたパンプキン爆弾」と題して講話、大変好評でした。午後は「しんぶんちぎり絵」の体験会と交流。会員手作りの平和の根付けでは自分の情報を提供しないでほしいとの申請率が高まっています。知らないうちに、子や孫の情報が自衛隊に知られ、勧誘の電話やはがきがくるかもしれません。周りにもっと知らせなくてはなりませんね。

原爆展は今後２カ所で開く予定▲富山

広島
呉の戦争の歴史　学ぶバスツアー

【東広島支部　岡田京子】10月25日、マイクロバスをチャーターして、21人の参加で「平和のつどいバスツアー」を行いました。

今、呉では日本製鉄呉跡地に防衛拠点化計画が推し進められようとしています。そこで実際に入船山記念館、日鉄跡地、潜水艦基地、和庄供養塔など見学。呉は明治から鎮守府が置かれ、軍港としての歴史が長いことに驚きました。たくさんの自衛隊艦船や潜水艦がいて、日鉄跡地に新たに防衛拠点が作られることに恐怖を感じました。

1945年、呉空襲で街は火の海になり、防空壕に避難していた住民800人が蒸し焼きになったと聞き、空襲の凄まじさを想像しました。再び、悲惨な戦争が起こらないように真剣に考えていかなければと痛感しました。

戦跡などを訪ねた▲広島

北海道
自衛隊に名簿提供　学習会

【札幌白石支部たんぽぽ班　鈴木弘枝】10月22日の班会は、7人の参加で「自治体が自衛隊に名簿を提供している」ことの学習会をしました。

原則非公開のはずが、安倍元首相の一声で忖度が始まり、運用解釈が変更されました。自治体は、HPや広報誌に掲載、個人あてに通知した自治体では自分の情報を提供しないでほしいとの申請率が高まっています。知らないうちに、子や孫の情報が自衛隊に知られ、勧誘の電話やはがきがくるかもしれません。周りにもっと知らせなくてはなりませんね。

もっと知らせよう▲北海道

埼玉
新婦人フェス　ローズウィンドウ体験

【深谷支部】10月25日、「新婦人フェス」を開き、上柴公民館大会議室に31人（うちゲスト2人）が参加。プログラムは、オープニング、元気に歌おう、しんぶん久留米タイム、みんなで音読、ちょっと一息、美と平和、エンディング。展示は、小組の作品―生け花、糸かけアート、お針娘（手づくり）、短歌、低山ハイキングの記録と高校生の描いた原爆の絵。体験は、お針娘（あづま袋づくり）と連鶴（折り紙）、ローズウィンドウを楽しみました。

本紙9月13日号掲載のローズウィンドウを常任のSさんが試作を重ね、希望者に教えました。「初体験のローズウィンドウ、奥深く神秘的ですネ」と感想が。集まって、楽しんで、充電して、がんばろうという気持ちに。

ローズウィンドウを手に▲埼玉

通信ありがとう

（10月）
（県別）
北海道55、青森4、岩手10、山形1、宮城9、福島13、東京70、群馬3、栃木10、茨城12、埼玉19、千葉16、神奈川21、山梨3、静岡5、愛知30、岐阜8、三重19、新潟17、富山1、石川9、長野33、滋賀4、京都37、奈良17、和歌山21、大阪71、兵庫28、岡山4、広島7、鳥取4、島根6、山口8、香川3、徳島6、高知2、愛媛2、福岡16、長崎5、熊本2、大分7、宮崎2、鹿児島8、沖縄3

（内容）
県活動10、支部活動33、班活動17、俳句174、短歌73、川柳86、詩2、絵手紙52、ギャラリー13、投稿247合計696